

13日目 5月28日(火)

AM5:00~瞑想(マハラジの講和、瞑想)

AM7:00~アーサナ、呼吸法

AM9:00~10:00 朝食

AM10:00~12:00 自由タイム(図書館解放)

PM13:00~14:00 昼食

PM16:00 ティータイム

PM16:30~18:00 アグニホトラ

PM18:00~19:00 マハラジのお部屋3F拝見、1F瞑想ホールにて瞑想

PM19:00~20:00 夕食

ニケタンに張り出されていた、1日のスケジュール



朝5:00~講和と瞑想、アーサナ

マハラジの講和を拝聴、すぐそこに、マハラジがおられ、実際にお話しされているようだ。皆、人のことは気にならないようだ。思い思いのアーサナをしている。



図書館風景



AM11:30 より YOG NIKETAN TRUST RISHIKESHI 「MEDICAL&PRYSIO THERAPY CENTRE」 ヨーガニケタンリシュケーシュ「検診と理学療法治療」の開所式に参加させていただく。



インド式の開所式は初めてだ、厳かな式の中、粛々と儀式が執り行われる。

日本と唯一違うのは、お花を散りばめること、首にレイを掛けること等だ。

同じことは、テープカットは同じ。

日本だと、関係者が、何人も並んで、一斉にテープカットだが、今回は、木村慧心先生お一人でカットされる。

木村宏輝先生も、厳粛に、木村慧心先生のおそばに控えておられる。

開所式が終わってニケタンにて昼食。

PM4:00 ティータイム、この時、トラベルミトラーの大麻さんが誕生日ということで、前日より、リタさんがケーキの調達に走ってくださる。

大きなケーキが用意され、サプライズ。

大麻さん、感激のあまり、泣いてしまった。貴重な写真だ。



プレゼントは、木村慧心先生と同じ、インド製 白のシャツ。

ケーキは、昔なつかしい、バタークリーム味のケーキだ。

大麻さんも、木村慧心先生との付き合いは長い、皆、木村慧心先生に魅了されて、常に、側によってくる。

終わって、アグニホトラ。

木村慧心先生が、マハラジから教わった同じ場所でのアグニホトラ、感無量。

マハラジから、木村慧心先生、そして木村宏輝先生へと、師匠から弟子へ、大切な儀式が受け継がれようとしている。ここでも、先代たちの智慧が受け継がれている気がする。



シシュケーシュでの最後のアグニホトラが終わって、マハラジがおられた3階の寝室を拝見させていただく。

マハラジのお部屋では、とても凜としており、気持ちが自然と引き締まり、お力をいただいた気持ちになる。同じ空間を過ごせることが、とてもおごそかで、ただただ、ありがたい、力をいただけた。



この後、瞑想室にて、全員で最後の瞑想をさせていただく。

日本では、途中から雑念が湧いてきてしまうのに、ここでは、不思議と静けさだけがただよっており、心静かだ、30分が、あっという間にたった。



PM 7:30分 夕食

男子は、全員、白シャツで統一。以外とおしゃれだ。



リシュケーシュのニケタンでは、静けさの中にも、とても充実した時間が過ごすことができた。

これは、先代たち、師匠たちの思いが、そこにしっかりと息づいているからだろう。

また、この修行の旅で、大変な思いをひとつづつ、こなしていく過程で、我々の心も、自然と内側を向き、内心を見つめることができたこともあるだろう。

それを、あたたかく、そして厳しく、見守って下さっていた木村慧心先生、木村宏輝先生、感謝です。

ニケタン風景写真



14日 5月28日

リシュケーシュ→デリーへ

AM5:00 起床

AM6:00～朝食

AM7:00 出発（宏輝先生が2日前にとおったとき、すごい渋滞だったため、予定より1時間早めに出発する。）

お世話になった現地スタッフにお礼

